

修了評価の方法

評価基準作成者： 小川 頼子

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲</p> <ul style="list-style-type: none">☆ 「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から「(9) ところとからだのしくみと生活支援技術」までとする☆ 日本医療企画出版の介護職員初任者研修課程テキスト 1 の介護・福祉サービスの理解とテキスト 2 のコミュニケーション技術と老化・認知症・障害の理解とテキスト 3 ところとからだのしくみと生活支援技術の 3 冊から出題する。 <p>2 出題形式</p> <p>四肢択一形式、○×記述形式、記号選択形式、用語の記述形式、文章記述形式(300字以内1問のみ)とする。</p> <p>3 出題数</p> <ul style="list-style-type: none">☆ 択一問題及び用語の記述問題で18問(配点90点)文章記述式問題1問(配点10点)全問正解：100点満点☆ 「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から2問 <p>4 合否判定基準</p> <ul style="list-style-type: none">☆ 60点以上で合格とする <p>5 不合格になったときの取扱い</p> <ul style="list-style-type: none">☆ 不合格者には、修了評価者の指導のうえ、修了評価日当日に再試験を実施する。なお、再評価に係る合格基準は60点とする。補習指導・再修了評価受験費用は合わせて2500円とする。☆ 再修了評価は最大3回までの実施とする。
------------	---